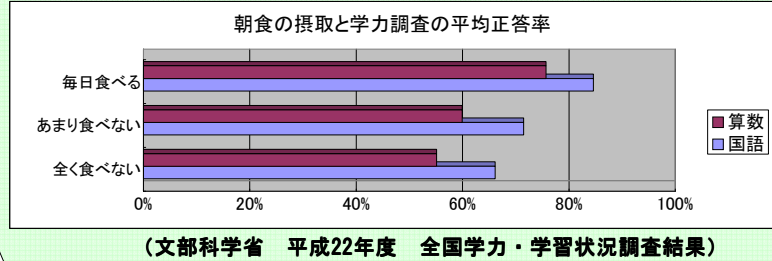


● 一日は「早寝早起き朝ごはん」から

規則正しい生活習慣と毎日の朝ごはん。これがしっかりできている児童・生徒は学力や運動能力でも優れているというデータがあります。
人間の体内時計は、朝の光を認識することで調節が行われています。成長ホルモンや神経伝達物質などは、睡眠の影響を特に受けやすく、成長期の子どものたちにとって、「眠る」ということはとても大切なことです。



● かけがえのない命への想いを共に考えよう

私は夏休み中の部活へ行く途中、交通事故に遭い、全治4か月という大ケガを負ってしまいました。
そんな時、支えてくれたのが家族やたくさんの友人でした。
私はこのときの経験から大切なことを学びました。
それは、「人はひとりでは生きていけない、周りに支えられて生きていられるんだ」ということです。



(命の大切さと人の思いやりに気づいた中学生の声)

3. 親として、子どもに向き合う姿勢を考えましょう。

● 良い事はほめ、いけない事は諭せる親に

家族の一員としての行いで、良いことをした時はほめ、認める
(例)家の掃除、小さい子の世話、家族の決め事への姿勢など

駄目なものは駄目と言い、社会生活で認められない行為等をした時は厳しく指摘し、正しい方向へ導きましょう。
(例)いじめ、盗み、約束を破るなど

子どもに**真剣に向き合う親**

子どもに**安心感**を与える

● 子どもは、親の背中を見ています

■ 最近の親や大人の姿は・・・



・ 社会のルールを平気で守らない行為
(子どもを乗せた自動車を運転中、携帯電話で通話する)
(子どもの目の前で平気でゴミのポイ捨てをする)
(学校の授業参観中に私語をしている)

・ 大切なことを教えず、その場しのぎで子を甘やかす行為
(子どもの訴えに負けて、物を買って与えてしまう)

・ わが子に非があっても子をかばい、悪いことを悪いと教えない姿勢
(子どもの問題行為の原因を、他人や制度に責任転嫁し、問題の本質に目を伏せる)

■ 「子は親の背中を見て育つ」の意味を考えて、行動しましょう。

4. 子どもと一緒に地域と積極的に関わる機会を持ちましょう。

● 近隣とのふれあいは、社会の一員の第一歩

■ 地域の人と交わす挨拶は・・・

お互いに
顔が見える
心が通じる
話ができる
関係づくりを進めます。



大人も子ども一緒になって
家族のような地域住民のつながりを作りましょう。

■ 地域住民とのふれあい

清掃活動 お祭りや伝統行事 子ども会活動 ボランティア活動 など

● お互いの立場をわかり合い
● 福祉への理解を深め
● 人権感覚を磨き
● 思いやりの心を育てる
→ **地域の一員としての意識が目覚める**

地域の大人から暖かい心ももらった中学生の声

学校からの帰り道、雨足が強くなってきたので、近くの店の軒下に入っていると、通りがかりの女の人が「そのお店に入ったら」と声をかけてくれました。
私がお店に入ると奥からおばさんが出て来て、「いいよ、しばらく雨宿りしていきな。濡れちゃったねえ、タオルいるかい？」とタオルを背中に入れてくれました。
雨が弱くなったので、私はおばさんにお礼を言ってお店を出ました。おばさんは「まだ降っているけど、気をつけて帰ってね。」と見送ってくれました。
通りがかりの女の人やお店のおばさんのさりげない優しさに、心が温かくなりました。

● 子ども会活動で豊かな人間形成を

子ども会の体験活動で得られるもの

過度に物に頼らない、**自ら工夫する生活**に触れることができます。

コミュニケーションを深め、**新しい仲間を作る力**が育ちます。

共同生活を営む中で、**協調性や思いやりの心**が育ちます。

家庭を離れた活動のなかで、**自律の姿勢や感謝の念**が育ちます。

新たな趣味や技術が身につきます。

健康を増進し、**体力の養成**に役立ちます。



5. 地域住民が、地域の子どもの見守る環境を作りましょう。

● 子どもをめぐる環境は地域ぐるみの見守りで

■ 愛の声掛け



- 「おかえりなさい」
- 「早く帰ろうね」
- 「後片付けをして帰ってね」
- 「お母さんと来たの？」
- 「さようなら」

■ 生活環境浄化



未成年の喫煙

地域住民の**温かな声掛けや見守り**が、子どもたちの**健全な心**を育み、さまざまな**誘惑**から子どもたちを守ります。



有害サイト 薬物乱用

地域を見守る大人の声掛けで
自分の行為に気がついた高校生

朝の通学時間帯、小学生の安全を守るため、いつも保護者の方や地域の方が横断旗を持って立っている。ある日、小学生に続いて横断しようとした自転車に乗った高校生が、通り過ぎて行った。
高校生は止まらずにそのまま走り抜け、小学生を誘導していた大人にぶつかってしまった。
ぶつかった高校生はそのまま走り出そうとしたが、見ていた周りの人が高校生に謝るように注意した。すると高校生は、「すみません」といってぶつかった人を起し、その人からも周りをよく見て通るように言われると、反省したように「気をつけます」といって走っていった。
その日以降、その高校生はその場所を通るとき、横断歩道にゆっくりと近づくと、ゆっくり走り、人がいれば自転車から降りて通るようになった。
この出来事も、見ていた大人が学校に対し、生徒に注意をするように言っても、その高校生は自分の行為に気づかなかったけれど、その場で注意されたことで、反省の気持ちも素直に言葉に出せたのだと思う。
このように、地域全体で互いの行為を注意し合える環境にしたいです。



地域での巡回活動に関するご相談は・・・

長野市少年育成センターまでお気軽にどうぞ

長野市大字鶴賀547-1
TEL 228-8547・228-8588
FAX 224-0109

長野市教育大綱

明日を拓く深く豊かな人間性の実現

長野市は 市民の皆様とともに
広い視野から 思いやりの心を育み
自律心や豊かな情操 創造力を養い
自然と文化あふれる郷土に 誇りを抱き
明日を拓くための 深く豊かな人間性の実現をめざします

昭和62年5月制定 平成23年12月改訂